

# CW-70

## 取扱説明書 保証書別添

本製品を使用したディスク\*への印刷は、ディスクにデータを記録する前に行われることをお勧めします。

すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の保証は致しません。また、当社はいかなる理由においてもディスクの記録データの保護ならびに破損についての責任は一切負えませんので、あらかじめご了承ください。

※CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RWなどのメディア

ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
本書はお読みになった後も大切に保管してください。

RJA510244-1

**CASIO®**

## ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利は全てカシオ計算機株式会社に帰属します。

Microsoft, Windows, Windows Media, およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Pentiumは米国インテル社の登録商標です。

Macintosh, Mac OSおよびTrueTypeは、Apple Computer, Inc.の米国および各国での登録商標です。

Easy CD Creatorは、Roxio, Inc.の商標です。

その他本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Copyright 2002 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本マニュアルやプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いいただきますようお願い致します。

### あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ・サービスセンターまでご連絡ください。
- 本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書は、紙メディアである性質上、この中に説明されているソフトが完成するかなり前に印刷されます。このため、取扱説明書の印刷終了後に行われたソフトウェア上の細部の変更、また画面の変更などに、一部対応しない部分が出る可能性があります。ご了承ください。

・「DISC TITLE PRINTER アプリケーション ver.3.01 (以下「PC アプリケーション」と呼びます)」は、Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/XP上で動作するアプリケーションソフトウェアです。

・機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

・動作環境については、PCアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

## 安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例

-  ○記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。
-  ●記号は「しなければならないこと」を意味しています(左の例はプラグをコンセントから抜く)。

## 危険

### アルカリ電池について

-  アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
  1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
  2. ただちに医師の治療を受ける。
 そのままにしておくことと失明の原因となります。

## 警告

### 煙、臭い、発熱などの異常について

-  煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
  1. 電源スイッチを切る。
  2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
  3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

## 警告

### 電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

-  ●必ず専用品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
-  ○1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

### 電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

-  ○重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
-  ●電源コード/ACアダプター/USBケーブルのプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

### 電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

-  ○濡れた手で電源コード/ACアダプター/USBケーブルやプラグに触れないでください。感電の原因となります。

## 警告

### 電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

-  ○分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
-  ●極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる

### 落とさない、ぶつけない

-  ○本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
  1. 電源スイッチを切る。
  2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
  3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

### 分解・改造しない

-  ○本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

### ⚠ 警告

#### 水、異物はさける

⊘ 水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

#### 火中に投入しない

⊘ 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

#### 袋をかぶらない、飲み込まない

⊘ 本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

### ⚠ 注意

#### 電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊘ ストープ等の熱器具に近づけない
- ⊘ 電源コード/USBケーブルのプラグを抜くときは、電源コード/USBケーブルを引っ張らない(必ず電源コード/USBケーブルのプラグを持って抜く)
- ⓘ 電源コードのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- ⓘ USBケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- ⊘ 旅行などで長期間使用しないときは電源コード/USBケーブルのプラグをコンセントから抜く
- ⊘ 電源コードのプラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年1回以上清掃する

#### 電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊘ 本機で指定されている電池以外は使用しない
- ⓘ 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

### ⚠ 注意

#### コネクター部への接続

⊘ コネクター部には、指定以外の別売品を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

#### 大切なデータは控えをとる

ⓘ 本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

#### 重いものを置かない

⊘ 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

#### 置き場所について

⊘ 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

### ⚠ 注意

#### 不安定な場所に置かない

⊘ ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

#### 乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

⊘ 本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

#### 表示画面について

⊘ 液晶表示画面を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。

- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをし医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

## ⚠ 注意

### 高温注意

🚫 プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

### テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、極端な高低温下での使用は避けてください。  
使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- 本機の上に物をのせないでください。
- 分解しないでください。故障の原因になります。
- 落としたり、倒したり、たたくなど強い衝撃を与えないでください。
- プリンターヘッドに指などを触れないでください。
- ディスクトレイを無理に引き出さないでください。ディスクトレイは電源を入れなければ引き出せません。

## もくじ

安全上のご注意	1
ご使用上の注意	5
箱の中身を確認してください	9
付属のCD-ROMおよびディスクについて	9
本書の見かた	10
マークの意味	10
キーの表記について	10
操作の進めかた	10
本書の構成	11
こんなことができます	12
各部の名前とはたらき	16
電源について	17
乾電池で使う	17
ACアダプターで使う	19
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！	20
電源を入れる・切る	21
インクリボンカセットの取り付けかた/取り外しかた	22
インクリボンカセットを取り付ける	22
インクリボンカセットを交換する	25
<b>おためし印刷編</b>	
まずは作ってみましょう	26
レーベルを作成する	26

レーベルを印刷する	28
レーベルを保存する	29
レーベル作成を終了する	29

### 文字入力編

キーのはたらき	31
画面の見かた	32
カーソルのはたらきと動かしかた	32
ローマ字入力？それともかな入力？	33
ローマ字入力とかな入力を切り換える	33
文字キーの使いかた	34
ひらがな・カタカナを入れる	34
アルファベット(大文字・小文字)を入れる	34
ひらがな・カタカナを入れる	35
ひらがなを入れる	35
カタカナを入れる	35
いろいろな文字の入れかた	36
漢字を入れる	36
文章を入力してから変換する	36
同音異義語を変換する	37
漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)	38
アルファベットや数字を入れる	39
アルファベットの大文字を入れる	39
アルファベットの小文字を入れる	40
数字を入れる	40

**記号を入れる** ..... 41  
 キーに記されている記号 ..... 41  
 その他の記号 ..... 41

**絵文字を入れる** ..... 42

**文字を修正・削除するときは** ..... 42  
 間違った文字を消す ..... 43  
 項目内の全ての文字を消す(文削除) ..... 43  
 間違った文字をなおす ..... 44  
 文字が抜けていたら ..... 45

**オリジナルの文字を作る** ..... 45  
 はじめから自分で作る(新規作成) ..... 45  
 本機にある文字を利用して作る(参照作成) ..... 46  
 すでに作ってある外字を修正する ..... 47  
 外字を使う ..... 47  
 登録した外字を削除する ..... 48

**レーベル作成編**

**レーベル作成編について** ..... 49  
 レーベル作成の流れ ..... 49

**新しくレーベルを作る** ..... 49  
 レーベルの印刷位置(印刷パターン)を選ぶ ..... 50  
 フォーマットを選ぶ ..... 51

**ロゴ付きのレーベルを印刷する** ..... 52  
 内蔵ロゴデータの種類 ..... 52  
 ロゴ付きレーベルの印刷例 ..... 53  
 ロゴ付きのレーベルを作る ..... 54

**最適な大きさの文字を印刷する** ..... 54  
 入力文字数と印刷サイズ ..... 54  
 オートフォーマットでデータを作る ..... 55

**文字のバランスを整える** ..... 55  
 文字割付の種類 ..... 55  
 文字割付を設定する ..... 55

**英数字を美しく割り付ける** ..... 56

**書体(フォント)を変える** ..... 57

**文字を目立たせる** ..... 59

**よく使う語句を登録する** ..... 60  
 プリセットタイトルを呼び出す ..... 60  
 新しくプリセットタイトルを作る ..... 61  
 プリセットタイトルを修正する ..... 62  
 プリセットタイトルを削除する ..... 63

**印刷結果を画面で見る** ..... 63

**レーベルを登録する・呼び出す** ..... 64  
 レーベルを登録する ..... 64  
 レーベルを呼び出す ..... 65  
 登録したレーベルを削除する ..... 65

**レーベルを印刷する** ..... 66  
 印刷の準備 ..... 66  
 印刷位置が1カ所のレーベルを印刷する ..... 66  
 印刷位置が上下2カ所のレーベルを印刷する ..... 67

**便利な機能編**

**パソコンリンクソフトから印刷する** ..... 70

**画像やイラストデータをパソコンから取り込む** ..... 72  
 インストール後のフォルダ構成 ..... 72  
 画像やイラストデータを取り込む ..... 72

**ディスクケースのタイトルラベルを作る** ..... 74  
 タイトルレーベルを作る ..... 74  
 プレートに印刷する ..... 76

**設定を変える** ..... 78  
 設定できる項目 ..... 78  
 挿入/上書きを切り換えたい ..... 78  
 ローマ字入力/かな入力を切り換えたい ..... 79  
 ブザー音を消したい ..... 79  
 画面の明るさを変えたい ..... 80  
 印刷の濃さを変えたい ..... 80  
 書体を変えたい ..... 81  
 ディスクトレイの開けかたを変えたい ..... 82  
 サンプルレーベルを印刷する(デモ印刷) ..... 83

**お手入れの方法** ..... 84

**こんなときは(トラブルシューティング)** ..... 85

**エラーメッセージ一覧** ..... 86

**ローマ字入力一覧** ..... 88

**記号・絵文字一覧** ..... 90

**レーベルフォーマット一覧** ..... 92

**タイトルラベルフォーマット一覧** ..... 94

**内蔵漢字一覧** ..... 94

**仕様** ..... 99

**別売品一覧** ..... 101

**項目別索引** ..... 101

**目的別索引** ..... 103

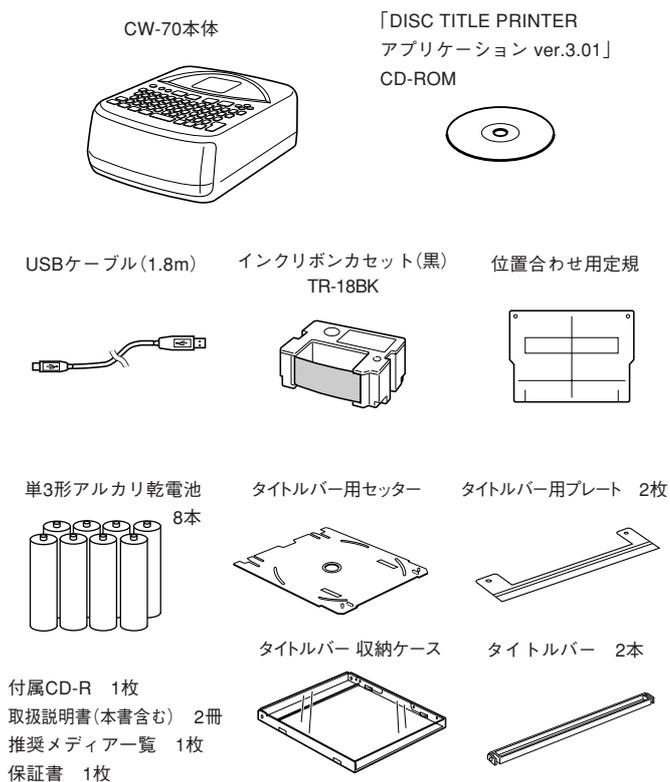
**保証・アフターサービスについて** ..... 104

**カシオテクノ・サービスステーション** ..... 105

**カシオお客様ご相談窓口** ..... 105

## 箱の中身を確認してください

次のものが入っているかどうか、お使いになる前に確認してください。もし、付属品が全部そろっていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



## 付属のCD-ROMおよびディスクについて

### 取扱上の注意事項

- ディスクは両面とも、指紋、汚れ、キズなどを付けないようにお取り扱いください。
- ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい乾いた布で、内周から外周に向かって、放射状に軽く拭き取ってください。レコード用クリーナーや溶剤などは使用しないでください。
- ディスクは両面とも、鉛筆、ボールペンなどのペン先の硬い筆記用具で文字や絵を描いたり、シールなどを貼らないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。

### 保管上の注意事項

- 高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。
- ディスクは使用後、お買い上げのときにディスクが入っていたケースに入れて保管してください。
- レーベル面が直接触れるような軟質系のケースおよび袋等での保管は避けてください

### 警告

CD-ROMはCD-ROMディスク対応機種以外では絶対に再生しないでください。音量によって、耳に障害を被ったり、スピーカーが破損する恐れがあります。

- DISC TITLE PRINTER CW-70(以下「本機」と呼びます)を使用してレーベルを印刷するCD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RWなどのメディアのことを、この取扱説明書(以下「本書」と呼びます)では「ディスク」と呼びます。
- 「レーベル」とは、「ディスクに印刷する文字や画像の総称」という意味で使用しています。

## 本書の見かた

### マークの意味

**重要** 操作を進めていくうえで、欠かすことのできない注意事項や制限事項などが掲載されていることを示します。

### キーの表記について

- 本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を $\boxed{F}$ や $\boxed{実行}$ などのように表記しています。

**例**  $\boxed{F}$ を押したあとに続けて $\boxed{実行}$ を押すときの表記

$\boxed{F}$   $\boxed{実行}$ と押します。

- 本機のキーの下、上または横に $\boxed{機能}$ と同じ色で書かれている機能(「設定」や「カタカナ変換」など)を使うには、 $\boxed{機能}$ を押したあとに続けて機能名が $\boxed{機能}$ と同じ色で書かれているキーを押します。

**例** 「設定」機能を使うときの表記

$\boxed{機能}$   $\boxed{設定}$ と押します。

- 操作手順の中で、「 $\triangle$  $\square$  $\circ$  $\times$ を押して…」 $\triangle$  $\square$ を押して…」 $\triangle$  $\square$ を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

\*本文中の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。

紙メディアである性質上、本文中で使用している表示画面は、実際の画面と若干異なる場合があります。

## 操作の進めかた

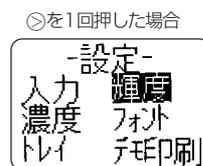
- 1 使いたい機能が書かれているキー(ボタン)を押します。

機能名が一覧で表示されます。これをメニュー画面と呼びます。



- 2  $\triangle$  $\square$  $\circ$  $\times$ のどれかを押し、目的の機能名に $\blacksquare$ を合わせます。

$\blacksquare$ を合わせると、文字は白く抜かれて表示されます。 $\blacksquare$ を合わせることで、その機能を選んだことになります。



メニューによっては、画面の右に $\blacktriangle$ または $\blacktriangledown$ が表示されます。これは、機能名(または項目)の続きがあることを示しています。 $\square$ または $\triangle$ を何回か押すと、続きを表示させることができます。

- 3  $\boxed{実行}$ を押します。 $\boxed{実行}$ を押すことにより、操作を進めることができます。



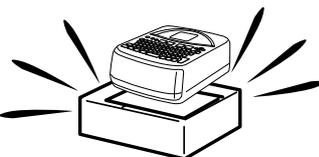
- 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは $\boxed{取消}$ を押します。
- $\boxed{取消}$ を何回押しても希望の画面に戻らないときは、 $\boxed{電源}$ を押して一度電源を切ります。 $\boxed{電源}$ を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

# 本書の構成

本書は目的別に説明が分かれています。  
やりたいことに合ったページをご覧ください。

はじめに準備してください

- ・箱の中身の確認(9ページ)



- ・梱包材の取り外し/  
インクリボンカセットの取り付け  
(22、24ページ)

まずはためしに作ってみたい  
おためし印刷編(26ページ)

★簡単なレーベル作成を例に、データの作成から印刷・保存までの流れを一通り体験してみてください。

レーベル作成 → 印刷 → 保存

- ※さらに便利な機能を使いたい
- パソコンで作ったレーベルデータを印刷する(70ページ)
  - パソコンからロゴデータを取り込む(72ページ)
  - ディスクの分類に便利なタイトルラベルを作る(74ページ)
- ※困ったときには・・・
- こんなときは(トラブルシューティング)(85ページ)
  - エラーメッセージ一覧(86ページ)

さらに凝ったレーベルを作りたい  
レーベル作成編(49ページ)

★お好みのレーベルを作るために、各機能について詳しく説明しています。

レーベル作成

- ・印刷パターン設定(50ページ)
- ・フォーマット設定(51ページ)
- ・ロゴ付きレーベル(52ページ)
- ・書式設定(55、56ページ)
- ・フォント設定(57ページ)
- ・文字体設定(59ページ)
- ・プリセットタイトル(60ページ)

印刷 66ページ → 保存 64ページ

★文字の入力方法・・・「文字入力編」(31ページ)をご覧ください。

# こんなことができます

本機を使うと、ディスクのレーベル面に文字やロゴを簡単に印刷することができます。

## ★豊富なレイアウトでバリエーション豊かなディスクレーベルを作ることができます。

印刷パターン(3種類)とフォーマット(24種類)を組み合わせると、多彩な用途に対応したレーベルが作れます。(印刷パターン→50ページ、レーベルフォーマット一覧→92ページ)

ロゴ付きフォーマットについては、52ページをご覧ください。



**うさぎのジロ成長日記'02**

★自動的に文字を美しく割り付けることができます。

うさぎのジロ成長日記'02夏 Part2

文字数に応じて最適の大きさの文字を割り付ける(オートフォーマット→54ページ)、アルファベットを美しく割り付ける(プロポーションアル→56ページ)など、自動的に美しくレイアウトされます。

★ディスクの分類に便利なタイトルラベルが作れます。  
(→74ページ)

ディスクケースのサイズにあったタイトルバー用プレートに、ディスクの情報を印刷してタイトルラベルを作ることができます。ディスクの分類や整理に役立ちます。

※ディスクケースの種類により、タイトルラベルをセットできないものもあります。

**こんなことができます**

★ロゴやイラストをレーベルに入れることができます。  
(→52ページ)

レーベルによく使われる言葉がロゴマーク(内蔵)になりました(14種類)。わかりやすくキレイなレーベルで差をつけましょう。



内蔵ロゴデータの他に、画像やイラストデータをパソコンから取り込み、使用することができます。(パソコンからデータを取り込む方法については、72ページをご覧ください。)

## ★いろいろな文字を使ってイメージ通りの レーベルができます。

- フォント(書体) (→57、81ページ)
- 文字体 (→59ページ)
- 記号 (→41ページ)
- 絵文字 (→42ページ)
- 自分で作った文字を登録できます  
(外字) (→45ページ)

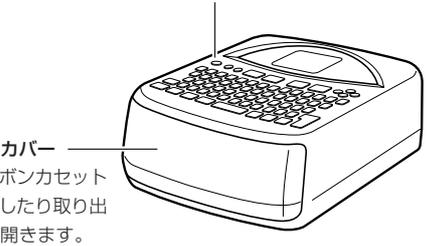


## 各部の名前とはたらき

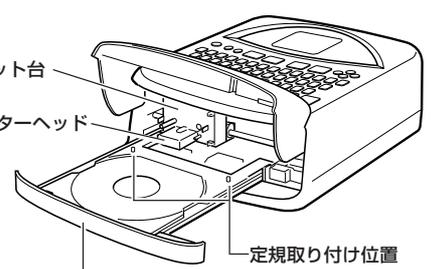
前面

 ディスクトレイを開けるときに押します。

**フロントカバー**  
インクリボンカセットをセットしたり取り出すときに開きます。



**カセット台**  
**プリンターヘッド**

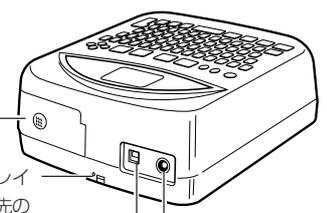


**ディスクトレイ**

**定規取り付け位置**  
ディスクをセットするときに位置合わせ用定規を取り付けるところです。タイトルラベルを印刷するときは、タイトルバー用セッターを取り付けます。

後面

**電池収納部**



**ACアダプター接続用端子**  
別売のACアダプターを接続します。

**USBコネクター**  
同梱のUSBケーブルを使ってパソコンに接続します。

本機が故障しディスクトレイが開かなくなった場合に、先の細い棒のようなものをこの穴に差し込むとディスクトレイを強制的に開けることができます(長さ20mm以上、太さ1.5mm以内のものをお使いください)。  
通常動作時は絶対に使用しないでください。  
※つまようじなど先端の折れやすいものを使わないでください。  
故障の原因となります。

準備  
各部の名前とはたらき

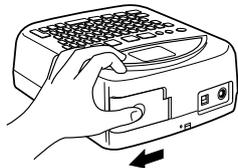
# 電源について

本機を使うときは、電源として乾電池または別売のACアダプターを使います。

## 乾電池で使う

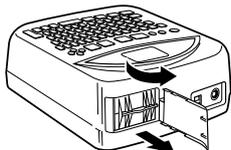
付属の単3形アルカリ乾電池を8本使用します。(必ずアルカリ乾電池をご使用ください。)

- 1** 電池収納部のフタを矢印の方向にスライドさせ、フタを開きます。

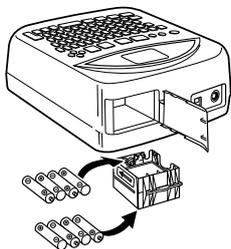


- 2** 電池ケースを引き出します。

**重要** 電池収納部のフタに無理な力(逆に曲げるなど)を加えないでください。故障の原因となります。

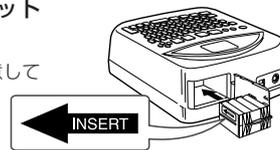


- 3** 乾電池4本を電池ケースの上段にセットします。次に電池ケースを裏返して、下段にも乾電池4本をセットします。⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



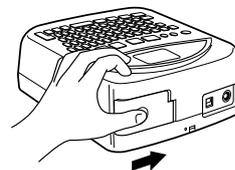
- 4** 電池ケースを電池収納部にセットします。

電池ケース側面の矢印の方向に注意してセットしてください。



**重要** 電池ケースをセットするときは、収納部にゴミや異物が入っていないことを確認してください。

- 5** 電池収納部のフタを閉め、矢印の方向にスライドさせてロックします。



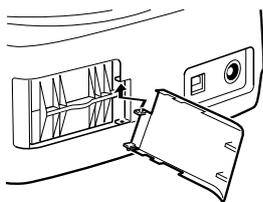
### 電池寿命について

ディスク約200枚分の印刷ができます\*。

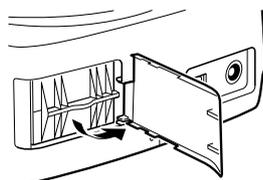
(20℃の印刷条件でディスク1枚あたり1回印刷した場合)

\* 黒い部分の多い文字や画像を印刷したり、低温下で使用した場合は、電池寿命は短くなります。

電池収納部のフタが外れてしまったときは  
電池収納部のフタが外れてしまったときは、下のようにしてセットし直してください。



フタを斜めにして、接続部上部の溝に入れます。



下側を矢印の方向にスライドさせてはめ込みます。

## ⚠ 危険

### アルカリ電池について

⚠ アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
  2. ただちに医師の治療を受ける。
- そのままにしておくこと失明の原因となります。

## ⚠ 警告

### 電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- ⊘ 分解しない、ショートさせない
- ⊘ 加熱しない、火の中に投入しない
- ⊘ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- ⊘ 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- ⊘ 充電しない
- ⚠ 極性(+と-)の向きに注意して正しく入れる

## ⚠ 注意

### 電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊘ 本機で指定されている電池以外は使用しない
- ⚠ 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

### 乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

⊘ 本機電池収納部内の電池パネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池パネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

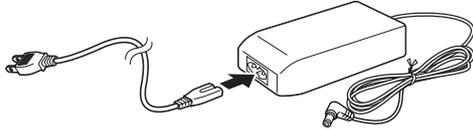
## ACアダプターで使う

別売のACアダプター(AD-A12280L)を使用すると、乾電池をセットしなくても本機を使うことができます。

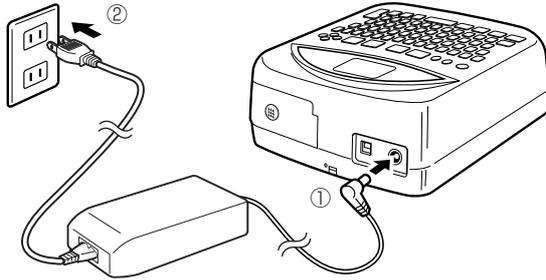
### ■取り付ける

- 重要**  別売の専用ACアダプター以外は使用しないでください。
- パソコンと接続する場合は、最初にパソコンのUSBポートにUSBケーブルを接続してください。

#### 1 ACアダプターに電源コードを接続します。



#### 2 ACアダプターのプラグを本機のACアダプター接続用端子に(①)、電源コードをご家庭のコンセントに(②)、それぞれ差し込みます。

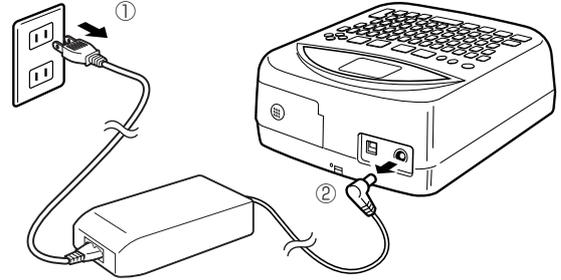


- 重要**  電源コードは必ずAC100Vのコンセント(通常家庭用コンセント)に差し込んでください。

### ■取り外す

- 重要**  印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- USBケーブルを接続している場合は、ACアダプターを取り外す前にパソコンと本機からUSBケーブルを抜き取ってください。

#### 1 電源コードのプラグをコンセントから(①)、ACアダプターのプラグを本機のACアダプター接続用端子から(②)、それぞれ抜きます。



### ⚠ 警告

#### 電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

-  必ず専用品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
-  1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしていない

### ⚠ 警告

#### 電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

-  重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
-  電源コード/ACアダプター/USBケーブルのプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

#### 電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

 濡れた手で電源コード/ACアダプター/USBケーブルやプラグに触れないでください。

感電の原因となります。

### ⚠ 注意

#### 電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて

電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

-  ストープ等の熱器具に近づけない
- 電源コード/USBケーブルのプラグを抜くときは、電源コード/USBケーブルを引っ張らない(必ず電源コード/USBケーブルのプラグを持って抜く)
-  電源コードのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USBケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは電源コード/USBケーブルのプラグをコンセントから抜く
- 電源コードのプラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまるように、コンセントから抜いて、年1回以上清掃する

## はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

- 重要**  メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

- 画面に何も文字がないことを確かめます。  
何か文字があるときは $\oplus$ を押します。
- $\text{印刷}$ と $\text{取消し}$ をいっしょに押しながら、 $\text{ON}$ を押します。  
「メモリー初期化 実行/取消し」が表示されます。
- $\text{実行}$ を押します。

#### メモリーとは

本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

#### 「メモリーの初期化」とは

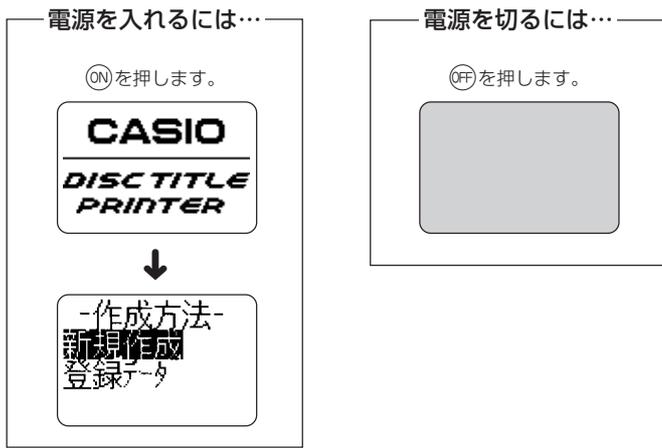
本機が正常な動作をするために、電気的な設定を行うことです。「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。

また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

※ パソコンから取り込んで保存したロゴデータは、消えずに残ります。

# 電源を入れる・切る

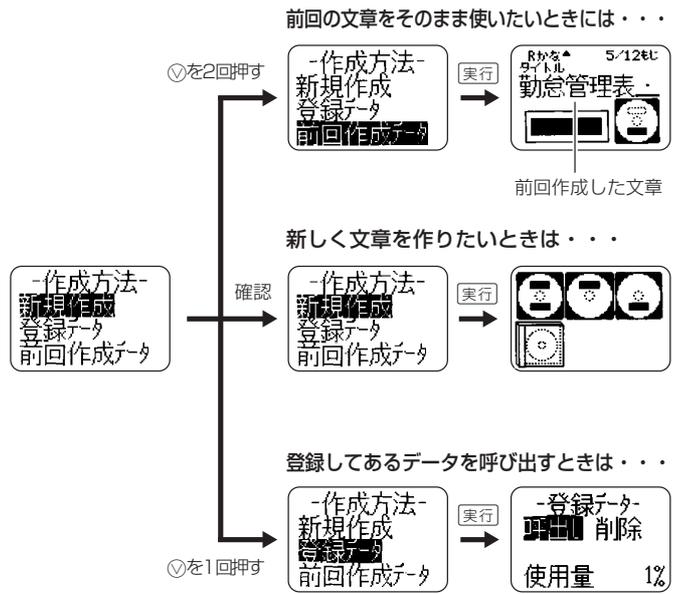
いちど「メモリーの初期化」をしたら、次からはⓂを押すだけで本機が使えます。



**電源を切るのを忘れても安心**  
 何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくで、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。  
 ふたたび本機を使うときは、Ⓜを押してください。  
 ※ ACアダプターを使用して、パソコンとつないで使っているときには、オートパワーオフ機能ははたらきません。

## 前に作成した文章がそのまま使えます

前回、画面に文章を残したまま電源を切り、次に電源を入れると左下の画面になります。



準備編  
電源を入れる・切る

**重要** 「新規作成」「登録データ」を選択したり、デモ印刷を行うと、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから各操作を行ってください。(データの登録→64ページ)

## データの保持について

- 本機は、入力・登録した文章などのデータを内蔵メモリー保護用電池のはたらきで記憶しています。本機裏面のラベルに表示されている交換期間を経過すると、内蔵メモリー保護用電池が消耗して、入力・登録したデータが変化・消去されてしまいます。交換期間までに内蔵メモリー保護用電池の交換をお買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーション(105ページ)にご依頼ください。有料で交換いたします。
- 本機に登録しているデータ(文字や文章など)は、必ずノートなどに控えをとっておいてください。

準備編

インクリボンカセットの取り付けかた/取り外しかた  
電源を入れる・切る

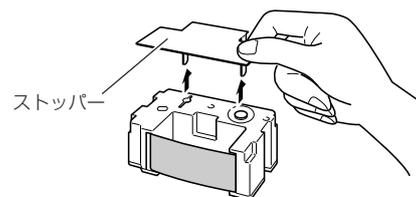
# インクリボンカセットの取り付けかた/取り外しかた

印刷するときには、インクリボンカセットが必要です。専用のインクリボンカセットをお使いください。(別売品一覧→101ページ)

- 電源を入れた状態にしないとディスクトレイは開かないので、インクリボンカセットはセットできません。(電源の入れかた→21ページ)
- 本機を保護するため、カセット台は梱包材で固定されています。はじめにお使いになるときは24ページをご覧ください、梱包材を取り外してください。

## インクリボンカセットを取り付ける

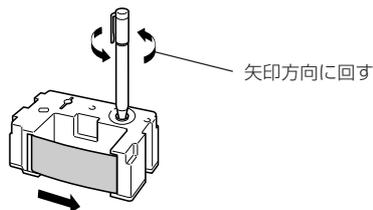
1 インクリボンカセットからストッパーをはずします。



## 2 ペンなど\*を、インクリボンカセットの穴に入れて、リボンが張るまでたるみをゆっくりと巻き取ります。

\*すべりにくい素材のものをお使いください。

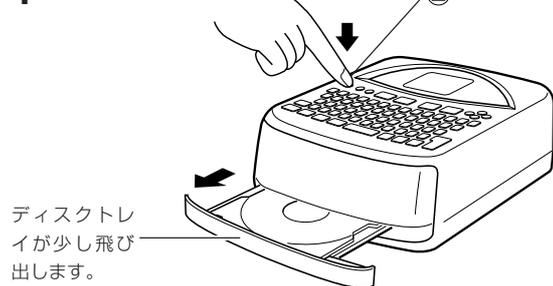
リボンのたるみの状態によっては巻き取るまで何回か回す必要があります。



- 重要** ・リボンを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。  
 ・たるんだ状態でインクリボンカセットを取り付けると、故障の原因となります。

## 3 **ON**を押して電源を入れます。(21ページ)

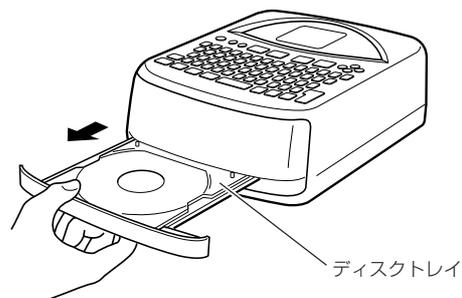
## 4 本体上部の**▲**ボタンを押します。



- 重要** ディスクトレイの前に物を置かないでください。

## 5 ディスクトレイをゆっくりと引き出します。

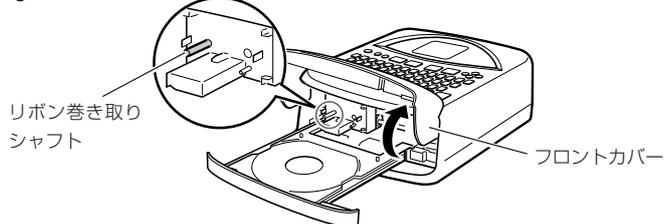
ディスクトレイは図の位置まで引き出してください。



- 重要** ・ディスクトレイは無理に引き出さないでください。  
 ・ディスクトレイに無理な力を加えないでください。損傷の恐れがあります。

- ・ディスクトレイを誤って本体から外してしまった場合は、トレイの先端をレールに合わせて再セットしてください。

## 6 フロントカバーを開きます。

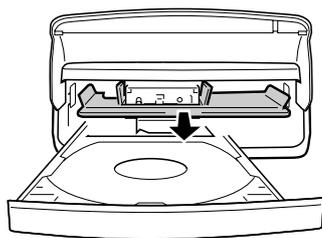


- 重要** ・リボン巻き取りシャフト部に力を加えないように、注意してください。シャフトが曲がる可能性があります。  
 ・フロントカバーに無理な力(逆に曲げる)を加えないでください。故障の原因となります。

23

### はじめてお使いのときは

カセット台を固定している梱包材を、図のように取り外してください。(梱包材は、17ページから23ページの操作を行った後、取り外してください。)



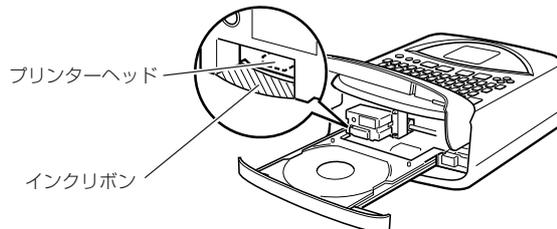
つまみを持ち、矢印の方向にゆっくりと引き出す

- 重要** ・梱包材がセットされた状態では、次のことは絶対にしないでください。故障の原因となります。

1. 本体上部の**▲**を何度も押す
2. (パソコンと接続しているとき)PCアプリケーションのメイン画面の**▶**を何度もクリックする
3. 印刷の操作を行う

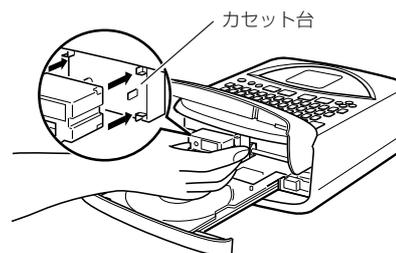
- ・フロントカバーを必要以上に開かないでください。破損する可能性があります。

## 7 インクリボンをプリンターヘッドの下にくぐらせます。

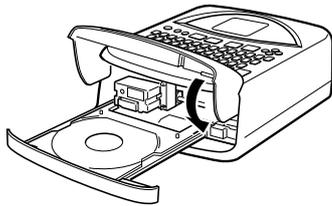


- ・インクリボンがたるまないよう、注意してください。  
 ・インクリボンがたるんだときは手順 2 を参考に、たるみを取ってください。

## 8 インクリボンカセットをカチッと音がするまで、カセット台にていねいに押しつけます。



## 9 フロントカバーを開めます。



## 10 ディスクトレイを閉めます。

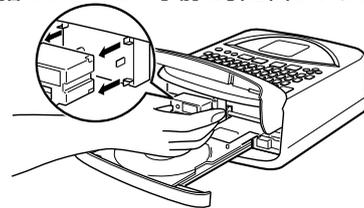
ディスクトレイはカチッと音がするまで押し込んでください。



- ディスクトレイが開いた状態で、取り出しボタンを押すと内部で動作音がしますが、故障ではありません。

## インクリボンカセットを交換する

- 1 (ON)を押して本機の電源を入れます。
- 2 本体上部の(▲)を押します。  
ディスクトレイが少し飛び出します。  
**重要** ！ ディスクトレイの前に物を置かないでください。
- 3 ディスクトレイをゆっくりと引き出します。
- 4 フロントカバーを開きます。
- 5 カセット台を動かさないように注意し、インクリボンカセットの両側を指ではさんで、手前に引き出します。

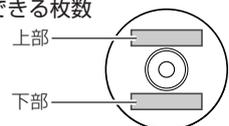


## 6 別のインクリボンカセットを取り付けます。

使用中のインクリボンカセットを保管するときは  
使用中のインクリボンカセットを保管するときは、ストッパーを取り付け、ビニール袋に入れたあと箱にしまい、ごみ・ほごりのつきにくい場所に保管してください。

1本のインクリボンカセットで印刷できる枚数

- 上部または下部のみ…約40枚
- 上部・下部両方…約20枚



## おためし印刷編

### まずは作ってみましょう

準備ができれば、ためしにレーベルを作ってみましょう。  
ここでは、レーベルの作成から印刷・保存までの流れを一通り体験してみてください。

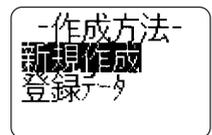
[例]



## レーベルを作成する

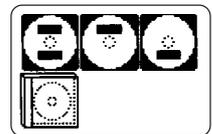
### 1 (ON)を押し、本機の電源を入れます。

- 前回作成したレーベルデータが残っているときは、画面に「前回作成データ」が表示されます(詳細は21ページをご覧ください)。



### 2 (▲)(▼)を押して新規作成にし、[実行]を押します。

レーベルの印刷位置(印刷パターン)が表示されます。



### ■レーベルの印刷位置(印刷パターン)を選ぶ

ディスク上でレーベルを印刷する位置を選びます。

### 3 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して[1]にし、[実行]を押します。

- 印刷パターンの設定に関する詳細は、50ページをご覧ください。



## ■フォーマットを選ぶ

レーベルのレイアウトを選びます。

### 4 ④④を押してオート2にします。

④④を押すたびに、フォーマット候補が変わります



- フォーマットの設定に関する詳細は、51ページをご覧ください。
- オート1またはオート2を選ぶと、入力した文字数に合わせて最適な大きさを文字が割り付けられます(オートフォーマット→54ページ)。

### 5 [実行]を押します。



## ■文字を入れる

タイトル1、2に文字を入力します。

入力中の項目名が表示されます

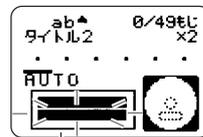
### 6 「Photo Album」と入力します。



- 文字の入れかたについては、30ページをご覧ください。

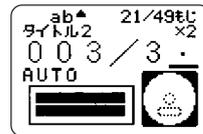
入力中の項目が点滅します

### 7 [実行]を押します。



点滅の位置が変わります。

### 8 「ペナン島の四季・2001/9~2003/3」と入力します。



### 9 [実行]を押します。

これでレーベルデータの作成は完了です。続いてレーベルをディスクに印刷します。



#### いろいろな文字にしたい

文字の入力中に、お好みで修飾することができます。

- 書体(フォント)を変える(57ページ)
- 文字を目立たせる(文字体)(59ページ)
- 文字の配置を変える(55ページ)

おためし印刷編  
まずは作ってみましょう

## レーベルを印刷する

作成したレーベルを、付属のディスクに印刷してみましょう。

- 重要** 市販のディスクに印刷する場合は付属の「推奨メディア一覧」をご参照ください。
- 本機が破損する原因となるため、シングルCD-Rや名刺サイズのCD-Rには印刷できません。印刷できるのは、直径12cmのディスクだけです。
  - 本機を使用したディスクへの印刷は、ディスクにデータを記録する前に行われることをお勧めします。すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の補償は致しません。

印刷前にできあがり画面を確認したいときは文字の入力中や印刷の指定中に[印刷プレビュー]を押すと、印刷結果に近いイメージを画面で見ることができます。詳しくは63ページをご覧ください。

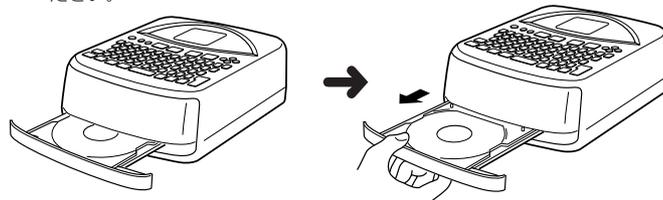
- 重要** ディスクトレイの前に物を置かないでください。

### 10 [印刷]になっていることを確認して、[実行]を押します。



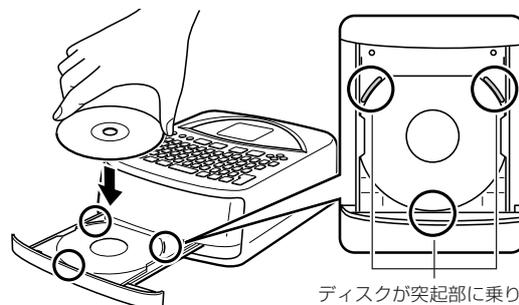
- 印刷パターンが異なるときは、表示される画面が変わります。(67ページ)
- 印刷について、詳しくは「レーベルを印刷をする」(66ページ)をご覧ください。

ディスクトレイが少し飛び出します。図の位置までゆっくりと引き出してください。



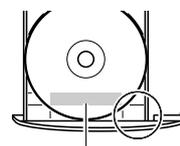
- 自動的にディスクトレイが開かないときは、[開]を押してください。
- ディスクトレイの開閉についての設定は、82ページをご覧ください。

### 11 レーベルを印刷する面を上にして、ディスクをセットします。



ディスクが突起部に乗り上げないようにセットしてください。

印刷レイアウトと印刷方向を確認してからディスクをセットしてください。(詳しくは69ページをご覧ください)



目安線に囲まれた部分に印刷されます

おためし印刷編  
まずは作ってみましょう

- 重要** ・ ディスクトレイやディスクに異物・ごみ等がついていないことを確認してください。ごみ等がついたままセットすると、記録面に傷がついてデータの書き込みができなくなることがあります。
- ・ 表裏を逆にセットすると、記録面に印刷され、データの書き込みができなくなります。

## 12 ディスクトレイを閉めます。



カチッと音がするまで押し込んでください。

## 13 [実行]を押します。

印刷が始まります。

印刷が終了すると最初の画面に戻り、ディスクトレイが少し飛び出します。ディスクトレイをゆっくりと引き出し、ディスクを取り出してください。これで印刷は完了しました。

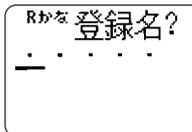


## レーベルを保存する

レーベルデータに名前をつけて登録しておき、呼び出して印刷や加工をすることができます。

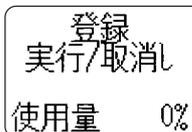
## 14 ⊙ ⊙ を押して [登録] にし、 [実行] を押し

- ・ 登録名：本機に記憶させるときは、レーベルに名前(登録名)をつけます。これは、あとでレーベルの内容を呼び出すときに、名前を探すためです。



## 15 登録名を入力・確定し、 [実行] を押し

ます。5文字までのお好きな名前を入力できます。



## 16 [実行] を押し

ます。これで登録は完了です。

## レーベル作成を終了する

## 17 ⊕ ⊖ ⊙ ⊙ を押して [終了] にし、 [実行] を2回押し

ます。最初の画面に戻ります。

## 文字の入れ方

タイトルに右の文字を入れてみましょう。

Photo Album  
ペナン島の四季・2001/9~2003/3

### ■ アルファベットを入れる

[aA] を何回か押して、画面左上に「AB」を表示させます。  
([AB]…アルファベット大文字、「ab」…アルファベット小文字)

P hoto □  
[aA] → [P] → [aA] [H<] [O<] [T<] [O<] [空白]  
(大文字に切り換える) (小文字に切り換える)

A lbum  
→ [シフト] [A<] → [L] [B<] [U<] [M<]  
(一文字だけ大文字)

### ■ カタカナを入れる

ローマ字入力、またはかな入力で入れることができます。ここでは、ローマ字入力を入れてみましょう。

[あア] を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

ペ ナ ン  
[あア] → [P] [E<] [N<] [A<] [N<] [N<]  
(カタカナに切り換える)

- 間違った文字を入れたときは、[後退] (43ページ) や [文字削除] (43ページ) を押して、文字を消してから入れ直してください。
- 詳しい文字の入力方法については、次ページからの「文字入力編」をご覧ください。

### ■ 漢字かなまじり文を入れる

ローマ字入力、またはかな入力で入れることができます。ここでは、ローマ字入力を入れてみましょう。

[あア] を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

しま 島  
[あア] → [S<] [I<] [M<] [A<] [変換] を何回か押して… [実行]  
(ひらがなを切り換える) (ひらがなを漢字にする) (目的の漢字を決める(確定))

の しき 四季  
→ [N<] [O<] [実行] → [S<] [I<] [K<] [I<] [変換]… [実行]  
(ひらがなを決める(確定)) (を、何回か押して)

### ■ 数字・記号を入れる

[aA] を何回か押して、画面左上に「AB」または「ab」を表示させます。

・ 2001/  
[aA] → [シフト] [あ] → [2<] [0<] [0<] [1<] [あ]  
(キー右上に印刷されている記号を入れる) (キー左の、アルファベットと同じ位置に印刷されている記号を入れる)

9 ~ 2003/3  
→ [9<] [シフト] [あ] → [2<] [0<] [0<] [3<] [あ] [3<]